

【SRA Holdings】Special Mail (No. 192) 2021年2月

(株)SRAホールディングス代表取締役社長の鹿島です。

本日、2021年3月期第3四半期決算を発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

なお、「決算付属資料」、「2021年1月売上高速報」も併せて発表しました。

[2021年3月期第3四半期業績(連結)前年同期比]

■売上高＝減収

■収益＝「粗利益」は横這い、「営業利益」および「四半期純利益」は増益、「経常利益」は減益

◎売上高:285億35百万円(8.0%減)

・開発事業(3.7%減):金融業やサービス他が増加したものの、製造業が減少

・運用・構築事業(3.7%増):企業向けが増加

・販売事業(17.4%減):AIT、SRAの機器販売が減少

◎粗利益:67億28百万円(0.4%減)

◎販売管理費:34億51百万円(4.0%減)

◎営業利益:32億77百万円(3.7%増) 営業利益率:11.5%(前年同期10.2%)

◎経常利益:32億06百万円(3.3%減) 経常利益率:11.2%(前年同期10.7%)

◎四半期純利益:19億30百万円

<発表資料><https://www.sra-hd.co.jp/>

第3四半期業績(前年同期比)につきましては、売上高は減収となりましたが、販管費等の効率化にも努めた結果、営業利益が増益となりました。

経常利益は為替差損の計上により減益となりましたが、投資有価証券評価損が減少したことに加え、今期は固定資産の減損損失の計上がなかったことにより、四半期純利益は増益となりました。

[2021年1月月次売上高]

(株)SRA＝顧客の投資抑制の影響により減少。

コロナ禍の影響の少ない業種への受注活動を強化

(株)AIT＝累計で前年比減少、病院を中心とした公共系の受注活動を強化

国内子会社＝一部好調な会社があるものの、全体では累計減少幅が拡大

海外子会社＝好調な会社が増加、累計減少幅が縮小

<発表資料>https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2020.html